



やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年12月10日(火)～2020年2月24日(月・振休)

Tue., December 10 2019 – Mon., February 24 2020

開館時間: 10:00～17:30 (展示室への入室は17:00まで) 休館日: 毎週月曜日

*ただし、1月13日(月・祝)、2月24日(月・振休)は開館、1月14日(火)は休館

*年末年始休館: 2019年12月29日(日)～2020年1月1日(水)

観覧料: 一般 1,200円(1,000円) 70歳以上 600円(500円) 大学生以下無料

* ()内は前売及び20名以上の団体料金。* 収蔵品展、ロダン館も併せてご覧いただけます。

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方と付添者1名は無料。

主催: 静岡県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、Daiichi-TV

協賛: ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、JAふくしま未来、JAグループ福島

協力: 京都造形芸術大学、香川高等専門学校、群馬工業高等専門学校、福島県立福島工業高等学校、

京都工芸繊維大学 ROBOCON挑戦プロジェクト、一色事務所、

堀内カラー、被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会

企画協力: 一般社団法人MIWA YANAGI OFFICE

静岡県立美術館
Shizuoka Prefectural Museum of Art



2019

やなぎみわ展 神話機械

MIWA YANAGI: Myth Machines

2019年12月10日(火)～2020年2月24日(月・振休)

1990年代から現在に至るまで、現代美術のみならず演劇界でも忘れられないアートシーンを創出してきた美術家やなぎみわ(1967～)。《エレベーター・ガール》で最初に注目を浴び、《マイ・グランドマザーズ》や《フェアリー・テール》といった一連の写真作品で世界的に評価を受け、2009年には第53回ヴェネチア・ビエンナーレ日本館代表となる一方、翌2010年には本格的に演劇プロジェクトを始めます。大正期の日本を舞台に、新興芸術運動の揺籃を描いた「1924」三部作で話題を集めるほか、台湾で製造したステージ・トレーラーを母体に2016年から日本各地を巡礼する野外劇は大きな感動を与えました。その舞台作品と並行し、日本神話をモチーフに、福島県内の果樹園で桃を撮影した新作シリーズを制作しており、今回、これらをまとめて、日本で初めて発表します。また本展に向け、京都、高松、前橋、福島等の大学等と連携した「モバイル・シアター・プロジェクト」が立ち上がり、マシンによる神話世界も展示会場に生み出されます。

美術と舞台の両極を往還することで生まれるやなぎみわ作品は、スペクタクル性とドキュメンタリー性が交錯し、虚実を幾重にも越境していくものです。待望された約10年ぶりの本個展では、これまで以上にやなぎみわの汲み尽くせぬ創造の泉に迫ります。

ライブパフォーマンス『MM』 ※本プロジェクトは、JSPS科研費 JP17H00910に関連する作品です。
構成・演出：やなぎみわ 出演：高山のえみ 音楽：内橋和久

12/21(土)・22(日) 19:30開演(18:45受付開始/19:20開場)＊19:00～プレトークあり
上演時間1時間程度/静岡県立美術館企画展示室/定員：各回50名(応募者多数の場合は抽選)/参加無料・要事前申込。ただし、本展の観覧券もしくは半券が必要。/未就学児のご入場はご遠慮ください。
申込方法：10月1日(火)～11月30日(土)必着。当館ホームページのイベントページ内の申込フォームからお申込ください。インターネット環境がない方は、往復はがきの往信面裏に①～④の必要事項を、返信面表に返信先をご記入の上お送りください。

[必着事項]①希望日②参加者氏名(2名まで)③電話番号④郵便番号・住所
[送付先]〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2 静岡県立美術館 やなぎみわ展MM係

やなぎみわアーティスト・トーク

1月13日(月・祝) 14:00～15:30

講師：やなぎみわ氏(美術家)/会場：当館講堂/申込不要/無料/先着250名まで

館長美術講座(対談)「やなぎみわとは誰か?」

1月26日(日) 14:00～15:30

講師：木下直之(当館館長)、やなぎみわ氏(美術家)/会場：当館講堂/申込不要/無料/先着250名まで

わくわくアトリエ

1月12日(日) 講師：やなぎみわ氏(美術家)/事前申込が必要です。/お申込方法・内容詳細は約1ヶ月前をめどに美術館ホームページまたは館内配架チラシでお知らせします。

学芸員によるフロアレクチャー

12月28日(土)、1月19日(日)、2月9日(日)

いずれも13:30より30分程度/集合場所：企画展示室入口/申込不要/本展観覧券が必要です。

- ◎次回展覧会「開校100年 きたれ、パウハウスー造形教育の基礎ー」2020年4月11日(土)～5月31日(日)
- ◎静岡市美術館展覧会のご案内「奇跡の芸術都市パルセロナ展」2019年11月15日(金)～2020年1月19日(日)

◎チケット販売所(前売り券は2019年12月9日(月)まで販売)

[前売・当日券]チケットぴあ、セブンイレブン(Pコード共通:769-936)、ローソンチケット、ミニストップ(Lコード共通:45437)、セブンチケット、CNプレイガイド(ファミリーマート)、静岡県立美術館

[前売券のみ]大和文庫、戸田書店(静岡本店・江尻店)、谷島屋(パルシェ店・マークイズ静岡店)、吉見書店(竜南店)、大丸松坂屋友の会、静岡県庁本館1階売店、静岡市美術館ミュージアムショップ、グランシップ、JR草薙駅前一部店舗

◎託児サービス(無料)日曜日、祝日のごみご利用いただけます。/時間：10:30～15:30/対象年齢：6カ月～小学校就学前/お預かりできる時間は2時間以内です。/ご利用が集中した場合はお受けできないことがあります。



[交通案内] ●JR「草薙駅」東・美術館口から静鉄バス「県立美術館行き」で約6分 ●JR「静岡駅」南口からタクシーで約20分、または北口から静鉄バスで約30分 ●JR「東静岡駅」南口からタクシーで約15分、または静鉄バスで約20分 ●静鉄「県立美術館前駅」から徒歩約15分、または静鉄バスで約3分 ●東名高速道路・静岡IC、清水ICから車で約25分、日本平久能山スマートICから車で約15分、新東名高速道路・新静岡ICから車で約25分

静岡県立美術館 Shizuoka Prefectural Museum of Art

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2
http://www.spmoa.shizuoka.shizuoka.jp
お問合せ：総務課 Tel.054-263-5755 Fax.054-263-5767
学芸課 Tel.054-263-5857



【図版・上、左から】

《次の階を探してI》(部分)1996年 高松市美術館蔵

《My Grandmothers: YUKA》2000年 作家蔵

《グレーテル》2004年 作家蔵

《桃を投げる》2018年 作家蔵

《神話機械・ムネメー(投擲マシン)》2019年 被災地からの発信・心の復興支援事業実行委員会蔵 撮影：表恒匡

《神話機械・タレイア》2019年 作家蔵 撮影：表恒匡

【表面】《女神と男神が桃の木の下で別れる：川中島》(部分)2016年 作家蔵